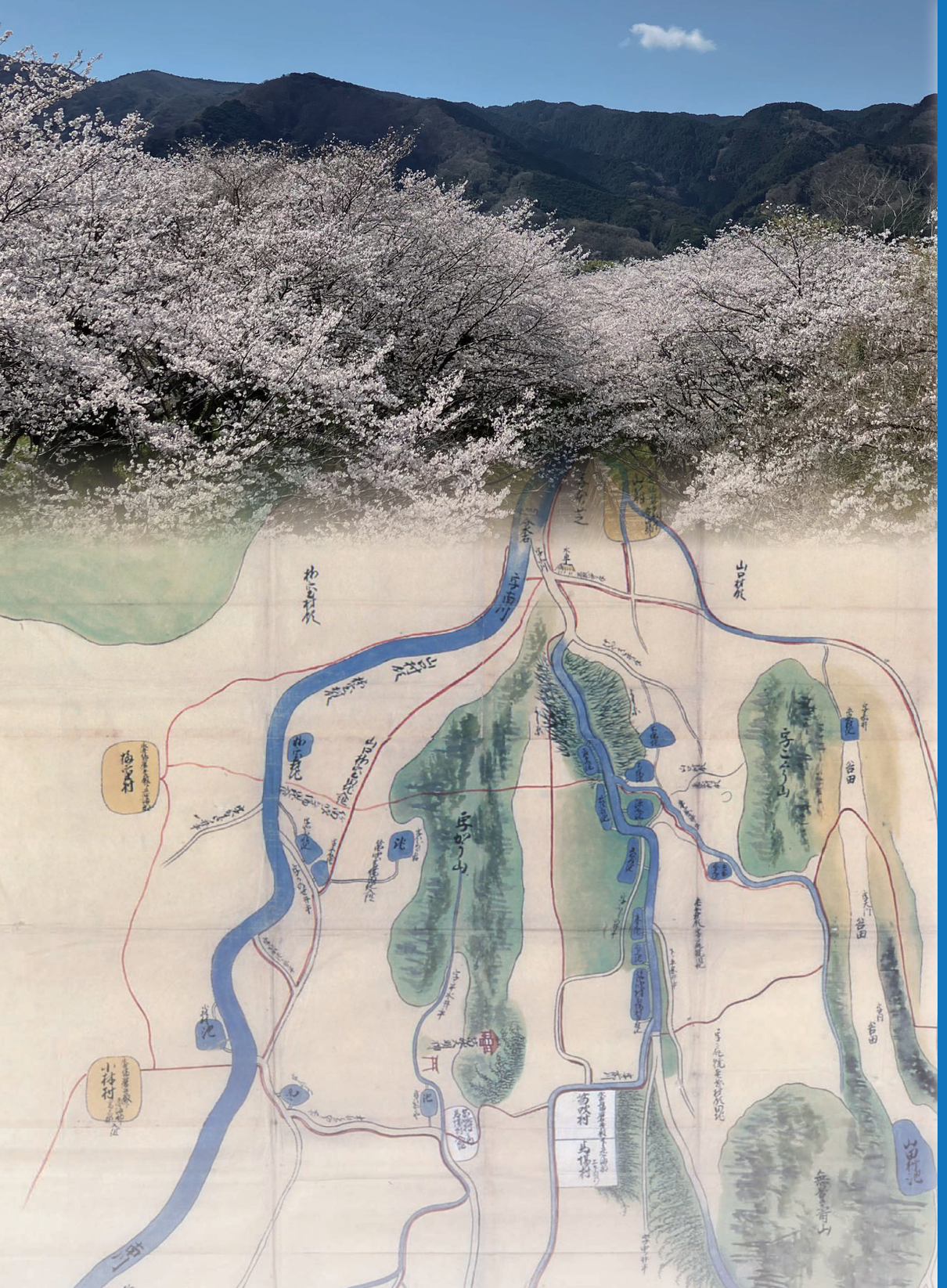


春季企画展

水が育んだ葛城の歴史

近世の絵図から探る

2025 年

5/10（土）▶7/6（日）

休 館 日：毎週火曜日、第２・４水曜日
開館時間：午前９時～午後５時
（入館は午後４時 30 分まで）

入 館 料：一　　般　200 円（160 円）
高校・大学生　100 円（80 円）
小・中学生　50 円（40 円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金

葛城市歴史博物館
Katsuragi City Museum of History
〒 639-2123　奈良県葛城市忍海 250 番地 1　TEL：0745（64）1414

水が育んだ葛城の歴史　－近世の絵図から探る－

水は、いつの時代も人が生きていくうえで欠かせません。二上・葛城山麓地域は、山を水源とした清流をはじめ、地域を流れる川の水とともに豊かな歴史を紡いできました。

「大和豊年米食わず」という言葉があります。奈良盆地で穀物がよく実った年は、他の地域では雨が多く凶作であるという意味のことわざで、奈良盆地が慢性的な水不足にあったことがうかがえます。二上・葛城山麓地域も同様に、河川を流れる水の量は限られており、昔から水の確保に大変苦労してきました。そのようななか、人びとは様ざまな工夫をしながら水を分けあって利用してきました。その工夫の一端を、近世の絵図などから読み解いていきます。あわせて、絵図に描かれた河川やため池の様子から、水とともにある当時の地域の風景を想像し、感じていただきたいと思います。

今回は、二上・葛城山麓地域における水と人びとの歴史を、水や稲作にかかわる信仰が始まった古代、地域の様子を伝える絵図が描かれた近世、清流が育んだ酒造りなどの産業が営まれた近代と、それぞれの時代を特徴づけるテーマに着目しながら紹介していきます。最も身近にあって、生きていく上で欠かせない水にまつわる歴史をとおして、あらためて地域に根付いた自然の恵みを最大限に活かしてきた人びとの創意工夫に思いをはせる機会にしたいと思います。

笛吹神社と兄川
兄川筋水利絵図　部分（個人蔵）

企画展記念講演会　（いずれも午後２時から）

◆５月 24 日（土）

「絵図にみる水と地域の風景」

講　師：川瀬理央（当館 学芸員）

◆６月７日（土）

「古代の人びとと水との関わり」

講　師：神庭　滋（当館 館長）

◆６月 21 日（土）

「「兄川筋水利絵図」からみた近世の村落関係」

講　師：土平　博氏（奈良大学文学部地理学科 教授）

◆７月５日（土）

「大池と傘堂、そして初田川 －二上山からの水の恵み－」

講　師：仲川道興（葛城市教育委員会）

会　場：歴史博物館２階「あかねホール」

定　員：200 名　事前申し込みが必要です。
（申込がない場合、当日参加はできません）

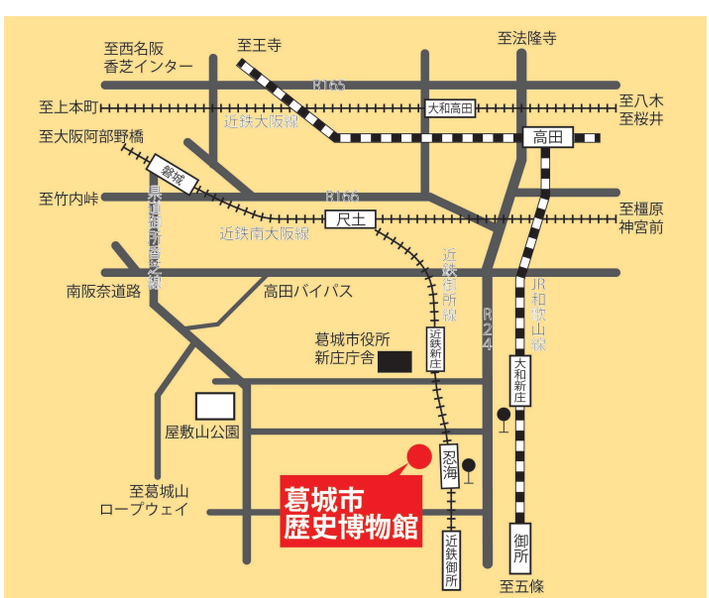
入　場：無料

申込先：葛城市歴史博物館　電話：0745（64）1414

○メール、ホームページからの申込も可能です。

おもな展示資料

笛吹明神能仕候高書覚（葛木坐火雷神社蔵）、大屋村絵図（本館蔵）、薑村絵図（本館蔵）、兄川筋水利絵図（忍海区蔵、林堂土地改良区蔵、個人蔵）、梅室村荒場絵図（御所市教育委員会蔵）　など



【交通】近鉄御所線「忍海（おしみ）駅」下車すぐ